

年末年始における注意喚起

令和5年12月22日
在スラバヤ日本国総領事館

- 年末年始の時期には、一般犯罪が増加する傾向にありますので、外出する際は周囲に注意を払い、在宅時にも施錠を確実に行う等の防犯に努めてください。
- インドネシア治安当局は、クリスマス前より、教会、商業施設、観光名所等の警戒強化を行うとしています。具体的なテロに関する脅威情報はありませんが、在留邦人の皆様におかれては、年末年始におけるテロへの警戒を怠らないでください。
- 万一の自然災害に備えて、日頃からの備えと最新情報の入手に努めて下さい。

1 一般犯罪に対する警戒について

クリスマスから年末年始にかけては、置き引き・ひったくりなどの窃盗犯罪や喧嘩や揉め事などによる傷害罪等の一般犯罪が増加傾向にあります。警察等治安機関関係者によれば、ショッピングモールや路上において、スマートフォンを操作している者を狙ったひったくり事案、同施設内のフードコートにおける座席確保を巡るトラブルを起因とした喧嘩等が発生しているとのこと。また、年末年始において、店舗やインターネットにおいて、クレジットカードを使用した買い物の機会も増加しますが、クレジットカード情報の窃取、詐取等によるサイバー犯罪も増加するおそれもあります。このような犯罪に巻き込まれないよう、

- 貴重品を外部から分かるように身につけない
- 車両で出掛ける際は、乗車時は必ずドアロックを施錠し、降車した際には車内の見える範囲にカバン等を放置したまま車両を離れない
- 徒歩で移動する際は、昼夜を問わず、人通りが少ない場所を通行することなく、手荷物は道路の反対側に持ち、できる限り車両の進行方向と逆向きに歩く
- 周囲で喧嘩等のトラブル発生を認知した場合には、素早くその場から離れる
- 店舗においてクレジットカードを使用する際には、面前において手続を行う、インターネットにおいて使用する際には、フィッシング詐欺等に注意し、正規なサイトであることを確認したうえで、クレジットカード情報を入力する

等の防犯対策に努めてください。

また、自宅では、在宅/不在に関わらず施錠を確認する。長期不在の際には内側の電灯を点けたままにする等、外見上、不在と分からないような工夫をする等の防犯対策に努めてください。

2 テロへの警戒について

年末年始に向けて、10月上旬以降のパレスチナ情勢悪化、11月28日から始まった大統領選挙キャンペーン期間中であることを踏まえて、インドネシア治安当局は、テロ対策の一環として、教会、商業施設、観光名所等の警戒強化を行うとしています。具体的には、不特定多数が集まり、比較的警備体制が手薄な公共交通機関やショッピングモール等の「ソフトターゲット」を狙ったテロを警戒するため、スラバヤ市内の大規模ショッピングモール周辺における警戒を強化することです。

当館管轄地(東ジャワ州、東カリマンタン州、南カリマンタン州、北カリマンタン州)では、現時点で、具体的なテロに関する脅威情報はありますが、過去、クリスマスから年末年始の時期において、ソフトターゲットを狙ったテロ事件が発生しています。このようなテロの標的になりやすい場所を訪れる際には、テロに対する警戒意識を高めていただき、安全確保に努めてください。

3 自然災害に対する備えについて

12月3日にインドネシア西部スマトラ島のマラピ山で大規模な噴火が発生、さらには、同日、スマトラ島南部とジャワ島西部に挟まれる海域に位置するアナック・クラカタウ島においても火山噴火が確認されています。12月20日には、東ジャワ州南部のスメル山も小規模ながら噴火が確認されています。スメル山周辺には、有名な観光地であるプロモ山があり、多くの邦人観光客も訪れていますので、同山周辺を訪れる際には、最新の情報を入手し、少しでも危険な状況を把握した場合には、訪問中止の検討も含め、冷静な判断をしてください。

また、火山の他にも、地震、雨期による豪雨などの自然災害は、いつ、何処で発生するか分かりませんし、発生を防ぐことはできません。発生時に少しでも被害を軽減＝「減災」に繋がるよう、そして、発生後の生活が困難な状況にならないよう、日頃からの「備え」と最新情報の入手に努めて下さい。

4 年末年始の事務所の閉館

当館は、12月29日(金)から、明年1月3日(水)まで閉館となります。閉館時の緊急のご用件は0800-1401934(国外からは(国番号+1)818-7554207)までご連絡下さい。(了)